

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	定時に測定したバイタルや様子からその日の心身状態の把握につとめるが、現状では職員によりバラツキがある。トイレ誘導なども声かけ不足から重複してお連れする場合がある。	定時のトイレへの誘導や、利用者の様子の把握などを常に全ての職員が情報共有することでバラツキがないようにする。	日頃から、日常業務やケアをする際に職員間で互いに声かけなどの基本的なやりとりを行い、利用者やその他の情報の共有に努める。	1年
2	35	避難訓練は実施しているが、実際に避難となると認知症という特性を考えたときにどこまで可能か非常に不安である。	いろいろな場面を想定した避難の訓練を継続していく。	前回火災訓練の反省から常に台所から火事という設定ではなく、他の箇所からの出火も想定して訓練に取り入れる。又、自然災害の避難後をリアルに想定し、備蓄品などを定期的に購入して避難訓練と合わせて考えるようにする。	1年
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・美都②

## 目標達成計画

作成日: 2019年 11月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の出席者が固定している。	運営推進会議が、グループホームの状況報告に止まらず、さらに地域の方々への情報発信の場として、生かしていただく努力をする。	・家族や、元家族等、できるだけ家族関係者へ出席の案内をしていく。 ・地域資源を利用し、防災、防犯、救命等について、理解や共有を深める場として活用できるよう努力する。	2年
2	2	地域行事や地域の奉仕作業に参加する努力はしているが、限られている。	地域の方々に「ひなたぼっこ」の入居者の方々と職員を地域の一員として、受入れていただく。	・地域行事等の情報を収集し参加する。 ・保育所との関わりをこちらから作ることで、具体的な交流に繋げる。 ・継続して努力をしていくことで、行事が日常となるようにしていく。	2年
3					
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。